

Skills for Better Writing <Intermediate>

— Third Edition —

構造で書く英文エッセイ 〈中級編〉

[第3版]

Yumiko Ishitani



NAN'UN-DO

1 構造で書く英文エッセイ

最近は大入試や資格試験などで英語でエッセイを書く需要が高まっています。どうやってエッセイを書いたら良いかわからないという学生向けに、エッセイライティングの基礎を築くことがこのテキストの目的です。個々の英文作成の技術を上げていくことももちろん大切ですが、書き手が一体どこを目指しているのかを明確にすることも大切です。多少英作の技術が足りなくても構成がしっかりしているエッセイであれば、言いたいことは伝わるはずですよ。

段落にはそれぞれの役割があるというのは日本文においても同じことなのですが、英文エッセイにおいてはよりその明確性が求められます。自分の考え方、伝えたいことをまず明らかにして、その論拠を述べていき、ゆえにこういう意見になったのだ、ということ論理的に書くのが英文エッセイです。エッセイの目標を決めたら、そこから外れないように書き進めなければなりません。そのためにまず全体の構成を作ることが大切で、それを構造図にして、各パラグラフが全体の中でどういう意味を持つのかを明らかにしてあらかじめ書いておくことを勧めます。常にその構造図に従いながら、無駄なことや、逸れたことは書かないようにします。「エッセイの目標を明らかにし、その目標に向かってまっしぐら」が英文エッセイで最も大事なことです。

英語4技能のうち、reading と listening はインプット、writing と speaking はアウトプットと言われます。どちらが先かというのは自明のことです。インプットがなければアウトプットは不可能だからです。「～について書け」と言われても基礎知識がなければ書けません。reading 作業をしっかりやって、様々な表現を頭に入れます。また、いくら理論を教えられても、「例」や「模範」があっても初めて具体的に理解できます。本書では、まず「模範」となる短いエッセイを読むことから始めます。そこで自分が書こうとするエッセイの基礎を学びます。基本的な表現を盗んでください。次に、日本語で書かれたエッセイを英語で書いてみます。これが自分でエッセイを書くタスクにつながる良いクッションとなるはずですよ。1本エッセイを書いてみることで自信が持てます。そして最終段階が、与えられたエッセイタイトルで自分でエッセイを書くことです。この段階を踏むことでエッセイが書けるようになるはずですよ。

最後に、英文についていろいろアドバイスをいただいた Chist Bullsmith 氏に感謝を表します。先に刊行されている Skills for Better Reading: Standard は、構造で英文エッセイを読むことを目的にしておりますが、各課が本書とシンクロしておりますので、ライティングの模範エッセイとして使用することができます。

2 本書の使い方

本書はそれぞれの課が6ページ構成になっています。

- 1 第1ページの構成図で、エッセイのおおまかな構造を掴んでください。ひとつのエッセイがどういう流れで構成されているのかに着目してください。
- 2 第2ページで、そこで取り扱われる構成パターンを使った読みもの (A. Model Essay) があります。テーマとなっている構造を頭に入れながら読み、概要をまとめる構成図にポイントを入れて大まかな内容をつかんでください。
- 3 第3ページでは、その課の課題エッセイを書く際に役に立つ表現をまとめてあります。
- 4 5 第4・5ページは、日本語で出来上がっているエッセイを英語にしてみる練習です。日本語にガイドされながら、エッセイを1本書いてみることで、次の最終的タスクにつなげていきます。
- 6 最後に、第6ページで、自分自身でエッセイを書いてみるタスクがあります。エッセイタイトルについては、こちらから提示されているものもありますし、自分で書きたいものを書いてもいいですよ。

エッセイライティングは、英語の集大成とも言えます。最初から「難しい」と諦めず、上の手順を踏んでいけば、簡単なエッセイを書くことができるようになります。簡単でも一つまとまったものが書けたなら、あとはどんどん情報を付け加えて、さらに高みを目指してください。

* [] と () の使い方

[] は言い換え可能。() は省略可能である。

I support [agree with / am for] ~ は、下線部の support は agree with 又は am for と言い換えることが出来る、という意味である。

3 ここで扱う4つのエッセイパターン

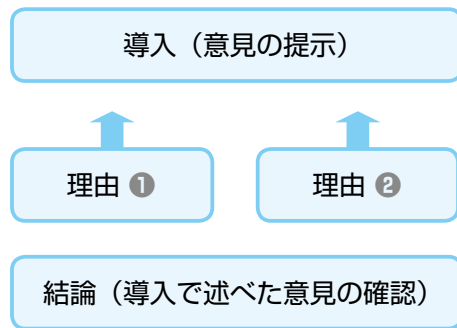
このテキストでは、エッセイのパターンを次の4つの型に分けています。

1. 意見サポート型
2. パラグラフ並列型
3. 直線型
4. 異質パラグラフ型

それぞれのパラグラフがそれぞれのエッセイの中でどのような役割を果たすかということについて、以下に簡単に図示します。

◎ 第1のパターン：意見サポート型

Unit 1 ~ 3

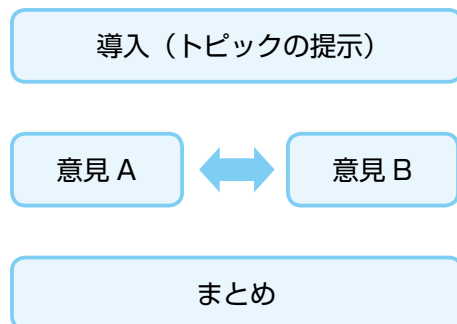


最初に自分の意見を明確にし、それを支える理由をその後の段落で述べていくパターン。最後の段落では最初に述べた意見をもう一度確認します。このテキストでは、①~③ 課で次の3種類を提示します。

- ① 結論・理由
- ② 社会事象の説明
- ③ 結果・原因

◎ 第2のパターン：パラグラフ並列型

Unit 4 ~ 7

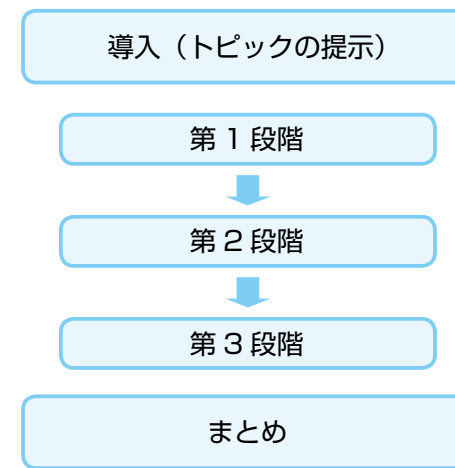


トピックを説明するいくつかのパラグラフがそれぞれ同じ重要性をもって並列に配置されるエッセイパターンです。それぞれのパラグラフは相対関係にあります。このテキストでは、④~⑦ 課で次の4種類を提示します。

- ④ 複数の意見
- ⑤ 比較
- ⑥ 賛成・反対
- ⑦ 分類

◎ 第3のパターン：直線型

Unit 8 ~ 10

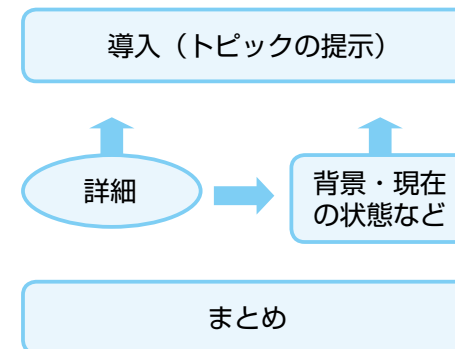


時間の流れに沿って順に説明をしていくものです。このテキストでは、⑧~⑩ 課で次の3種類を提示します。

- ⑧ 歴史
- ⑨ 過程
- ⑩ 原因—結果

◎ 第4のパターン：異質パラグラフ型

Unit 11 ~ 14



役割の違う複数のパラグラフで構成するエッセイパターンです。このテキストでは ⑪~⑭ 課で次の4種類を提示します。

- ⑪ 問題解決
- ⑫ 言葉の定義
- ⑬ 実験
- ⑭ 新製品

Contents

Part I

- 1 Conclusion / Reasons** 11
理由で押し切る！
A. Ekiden should be one of the events in the Olympic Games
B. Japanese universities should introduce a “Gap Year”. Do you agree?
- 2 Social Trends** 19
社会現象を考える
A. Young people are less likely to have a wedding ceremony
B. Why is Japan a popular tourist destination?
- 3 Results / Causes** 25
原因を究明する
A. Why did the voting age become 18 years old?
B. Why is Japanese society aging now?

Part II

- 4 Several Explanations** 33
いくつかの説明
A. The Honnoji incident
B. Why do women live longer than men?
- 5 Comparisons** 39
比較してみよう！
A. Viking and buffet
B. TOEFL and TOEIC
- 6 For and Against** 45
賛成と反対
A. Should the Olympic Games be abolished?
B. Retirement age should be seventy
- 7 Classification** 51
きちんと分類
A. Sports
B. Harassment

Part III

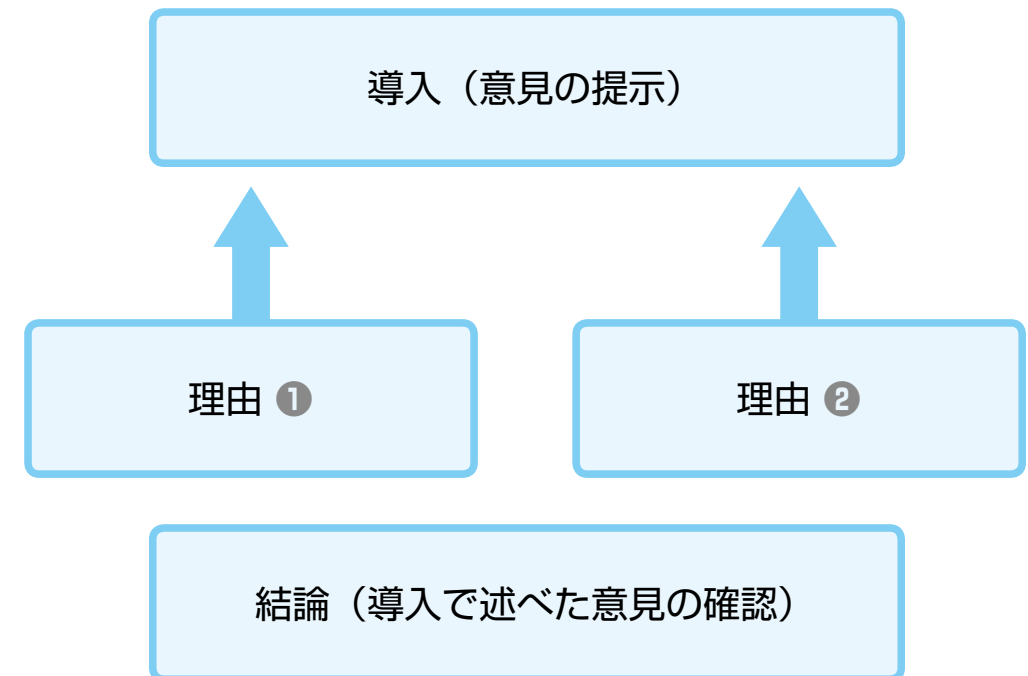
- 8 History** 59
歴史を知ろう！
A. Toyotomi Hideyoshi
B. Albert Einstein
- 9 Processes** 65
過程を説明
A. Tea ceremony
B. Christian wedding ceremony
- 10 Causes and Effects** 71
原因と結果
A. How the coronavirus pandemic changed our society
B. Tissue paper

Part IV

- 11 Definition of a New Word** 79
新しい言葉を説明しよう！
A. Ikumen
B. Black company
- 12 Research** 85
調査をしよう！
A. Games and study
B. Japanese young people think about themselves negatively
- 13 New Products** 91
新製品
A. Kirobo
B. i-Pot
- 14 Reading Graphs** 97
グラフを読む
A. The relationship between test scores and the parents' income
B. Divorce rates according to the duration of marriage

Part I

第1のパターン：意見サポート型 (Unit 1 ~ 3)



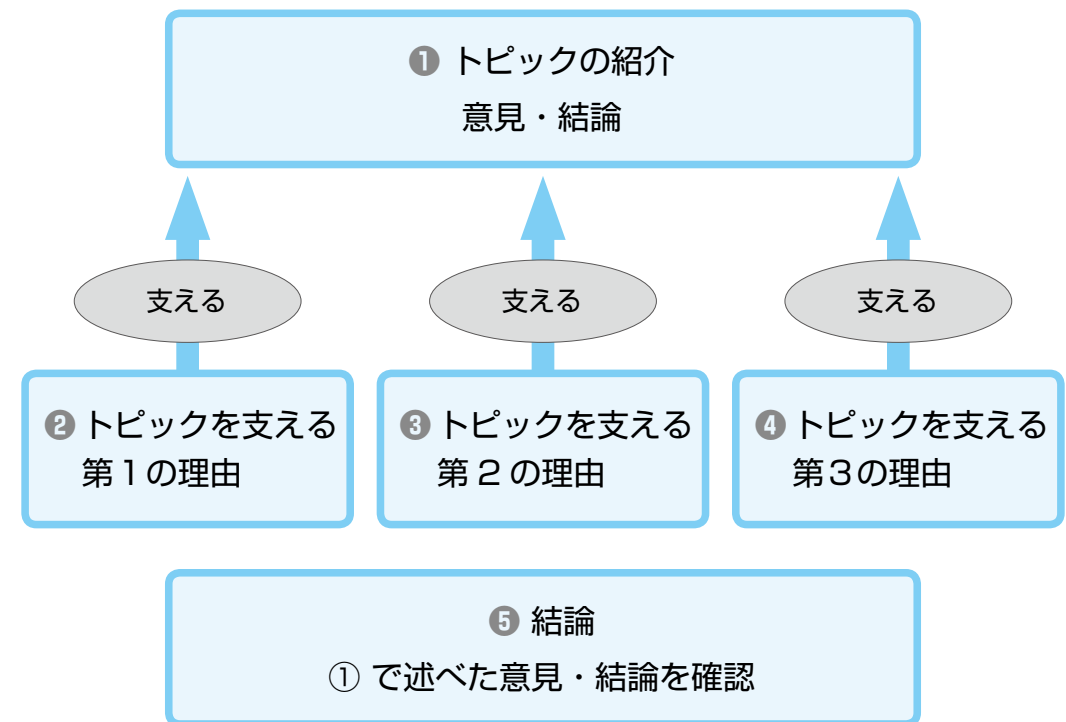
最初に自分の意見を明確にし、それを支える理由をその後の段落で述べていくパターン。最後の段落では最初に述べた意見をもう一度確認します。このテキストでは、①～③ 課で次の3種類を提示します。

- ① 結論・理由
- ② 社会事象の説明
- ③ 結果・原因

理由で押し切る！



●エッセイ構成



論議を読んでいる問題について、自分はそれについて「賛成だ」または「反対だ」として自分の意見を明確にする。それを正当化するために、いくつかの理由を出し、最後に「こういうわけで自分はこの結論に達した」と締めるエッセイです。欧米の大学のレポートを書く上で基本的なパターンですのでしっかりマスターしましょう。

A Model Essay



Ekiden should be one of the events in the Olympic Games

1 “Ekiden” is a sort of marathon relay. Each member runs about 15-20 kilometers and passes a “tasuki” (sash) to the next runner. Five or six people make one team. I support the idea that “Ekiden” should be one of the events in the Olympic Games.

5 2 The first reason is that there are already relays for running 100 meters and 200 meters, so why not for a marathon? Some people might say that it takes a long time for one race to finish, but there are already marathon and walking races. There are many more events which take a long time. So why not “Ekiden”?

10 3 The second reason is that this sport shows the power of a team, while marathon is an individual game. This sport will raise national pride. People will cheer for their team and will be very excited. Each country will be united to support their team. “Ekiden” is a hard sport. The harder a sport is, the more excited people get about it.

15 4 These are the reasons why I support the introduction of “Ekiden” as one of the events in the Olympic Games.

上のエッセイを読んで、次の表を完成させ、ポイントを整理しなさい。

① トピック・自分の意見	④ 結論
② 理由 1	③ 理由 2

Notes

event(s) 種目

- 1 a sort of ある種の relay リレー
- 2 walking race 競歩
- 3 raise 上げる cheer 応援する unite 団結する
- 4 introduction 導入

Useful Expressions

1 自分の立場を明確にする。

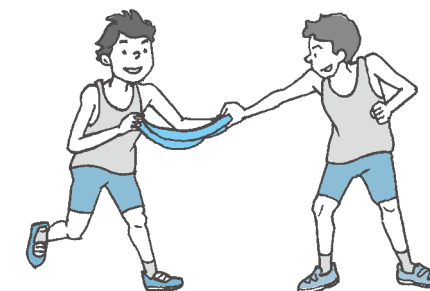
1. 「～という意見 [考え / 主張] に私は賛成である」
I support [agree with / am for] the opinion [idea / statement] that S+V.
2. 「～という考えに私は反対である」
I oppose [disagree with / am against] the idea that S+V.
3. 「多くの [何人かの] 人はそうだが、それでも私はこの考えに反対だ」
Many [Some] people say so, but I am still against this idea.
4. 「次に述べる理由から私はこの考えに賛成する」
I support this idea for the following reasons.

2 3 自分の立場を支持する理由

1. 「最初の理由は～」
The first reason is N. (N は名詞)
The first reason is that S+V. (S+V は文)
2. 「最初に」「第二に」…
First,... Second,... Third,...

4 自分の立場をもう一度確認

1. 「こうした理由から私は～だと思う」
For these reasons, I think S+V.
These are the reasons why I think S+V.



英文エッセイの書き方

エッセイを書く場合、まだ慣れていない時には次のようなエッセイ・プランをまず作っておくことを勧めます。それぞれのマスがそれぞれの段落を表しています。英文エッセイの場合、それぞれの段落が目的をはっきり持っていて、そこから外れてはいけません。

① 序論
② ボディ1
③ ボディ2
④ 結論または結び・まとめ

それぞれの段落の目的を簡潔にメモしておきましょう。エッセイを書く紙の隅にこのエッセイ・プランを書き付けておけば、自分が今何を書いているのか常に意識して書き進めることができます。書いているうちにあれも書きたい、これも書こうと、その段落の目的から外れてしまうことはよくあること。常に「この段落の目的に外れていないか」を意識しながら書いていくことは、全体的に論理的なエッセイを書く上で大事なことです。

まず一番上の段落が「序論」、そして一番下の段落が「結論または結び」です。あくまでもエッセイの母体は第2段落から始まる「ボディ」なので、序論、結論の段落はなるべく簡潔に書きましょう。

「序論」はエッセイで取り上げるトピックを引き出す「導入」部分になります。「～が最近人気である」「～が今深刻な社会問題となっている」「～という言葉を知っていますか？」など、何故このトピックを取り上げるのかの理由を明確にする、読み手にトピックに興味を持ってもらいたい、という意図で書きます。また、「このエッセイで私は～を明らかにしたい」といった自分の意見、立場を明らかにするやり方もあります。

「ボディ」は言葉通りエッセイの「本体」となります。エッセイがどういう目的を持っているかに応じてボディの役割も違ってきます。本書ではエッセイ目的を4つに分けています。

エッセイの型	ボディの役割
意見サポート型	意見を支える「理由」・「要素」
並列型	トピックに基づいた「例」、比較・分類など
直線型	時間的経過による「段階」「流れ」
異次元型	違った角度からトピックを説明

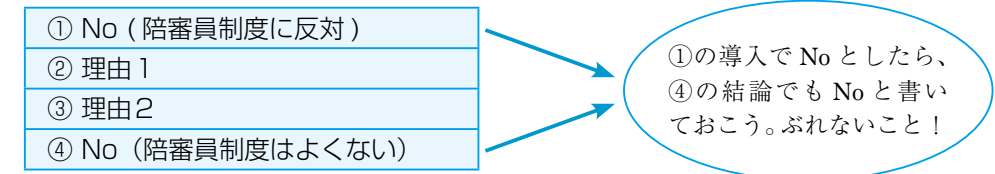
「結論・まとめ」は「締め」です。ボディだけでエッセイを終わると何だか締まりません。意見サポート型であるならば、自分の意見をもう一度強調する。そのほかのエッセイでは、何かしらトピックに関係することを述べてまとめとする。そのまとめの例としては、「我々

はますますこのことを考えてみなければいけない」「これからどのようにしていくのか？」などがあります。

「賛成か反対か」のエッセイの書き方

エッセイを書く場合に最も大事なことは「ブレない」ことです。特に「賛成か反対か」のエッセイについては、「Yes」か「No」かを序論でまず明確にし、結論では最初に表明した「Yes」か「No」かの意見を再度確認します。

まず一番上の段落の枠「序論」には、「Yes」か「No」か自分の意見を入れます。次に一番下の段落の枠「結論」に、序論で下した Yes か No かの自分の意見をもう一度入れます。序論で Yes と書いたなら、結論でも Yes です。序論で No なら、結論でも No です。これは絶対に間違えないでください。



No か Yes か決まったら、次はその理由づけです。No と決めたら、その意見を支える理由を2、3考えましょう。Yes と決めたら、その意見を支える理由をやはり2、3考えましょう。それぞれの理由が Body1、Body2 となります。

* 余裕があれば自分の意見と反対の意見にも少し触れよう！

No なのか Yes なのか明確にすることが最も大事なのですが、自分が下した意見と反対の意見も出しておく「バランスのとれたエッセイ」という印象を与えます。短いエッセイでは「序論」で触れておくのが一番良いでしょう。

「～について、・・・という理由で賛成する人もいる」(自分と反対意見の紹介)
→ 「しかし私は次のような理由で～には反対する」

と持っていけばバランスのとれたエッセイとなるでしょう。

B Writing Task

日本語に従って、次のエッセイを英語にしてみよう。下のエッセイ・プランを意識しながら書いてみよう。

Essay Title Japanese universities should introduce a “Gap Year”.
Do you agree?

エッセイ・プラン:

1	Yes
2	理由1 大学での勉強の目的を探す
3	理由2 様々な経験、色々な人に会う事ができる
4	Yes

1 ① 「Gap Year」は学生が大学に行く前の期間のことである。

② 彼らは、この年をどんな風にも使える。

③ 彼らは外国に行くこともできるし、ボランティアとして働くこともできる。

④ 私は日本はこの制度を導入すべきだと思う。

2 ⑤ 第一の理由は多くの大学生が学ぶ動機を持っていないことである。

⑥ 多くの学生が大学で時間を無駄にしている。

⑦ 彼らは自分の学ぶ目的を探すためにギャップイヤーを使うべきだと思う。

3 ⑧ 第二の理由は、大学に行く前に様々な経験をするべきだということである。

⑨ 一旦働き出すと、このような時間を見つけることができない。

⑩ 1年間働いたり旅行することは彼らに、大人になる大きなチャンスを与えてくれるだろう。

⑪ ギャップイヤーの間に、たくさんの異なった文化を経験することができ、様々な人と出会うことができる。

4 ⑫ これらが私が日本でギャップイヤーの導入を支持する理由である。

Notes

- | | |
|---|--|
| 1 | ① 「期間」 a period
② 「どんな風にも」 in any way
③ 「ボランティア」 volunteer
④ 「導入する」 introduce |
| 2 | ⑤ 「学ぶ動機」 motivation to study
⑥ 「無駄にする」 waste |
| 3 | ⑧ 「経験」 experience
⑨ 「一旦～すると」 once S+V,
⑩ 「大人になる」 become mature |
| 4 | ⑪ 「ギャップイヤーの間に」 during a gap year |

C オリジナル・エッセイの作成

次のエッセイ・タイトルでエッセイを書いてみよう。

1. Should women quit their jobs after they have children?
2. Should computers be used more to educate children?
3. Should nuclear power stations be abolished?
4. Should the Olympic Games be abolished?
5. Should Japan accept more foreign workers?
6. Make up your own essay topic.

☆ 上のエッセイ・タイトルのうち、ひとつを選んで、それについて、Yes と No の両方の立場のエッセイ・プランを書いてみよう。

① 選んだエッセイ・タイトル []

② エッセイ・プランの作成

A	B
Yes	No
Yes	No

③ プランを選ぶ。

A と B を比べてどちらが書きやすいか考えてみる。書きやすい方を選んで、それを自分の立場とする。捨てた方の立場は、「導入」の部分で、反対の立場を紹介するときに使ってもよい。

④ エッセイの作成

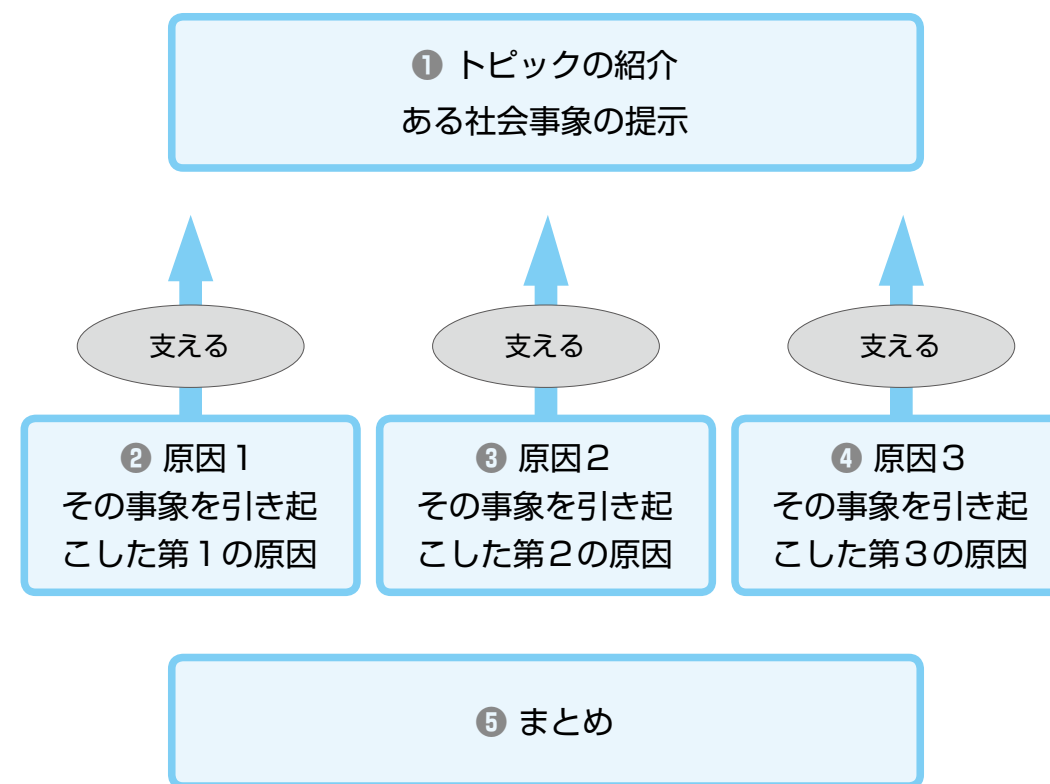
Useful Expressions を利用しながら、あなたのオリジナル・エッセイを書いてみましょう。

Social Trends

社会事象を考える

2

●エッセイ構成



トピックとなる社会現象を紹介し、その現象が現れた社会的原因・背景をいくつか提示していくパターンです。それぞれあげる原因が、トピックとなる社会現象を説明し、支える構成となっています。